

11月16日(金) 第1日目 A会場

13:25~13:30

会長挨拶 浅田 秀夫 (奈良県立医科大学)

13:30~14:00

日本皮膚免疫アレルギー学会の歴史と今後の展望

座長：戸倉 新樹 (浜松医科大学)

日本皮膚免疫アレルギー学会の歴史と今後の展望

片山 一郎 (大阪大学 名誉教授, 大阪市立大学 特任教授)

14:10~14:55 共同研究シンポジウム

共同研究シンポジウム

座長：加藤 則人 (京都府立医科大学)

矢上 晶子 (藤田医科大学ばんだね病院)

- アレルギー皮膚疾患治療満足度実態調査の経過報告
金子 栄 (島根大学) ほか
- パッチテスト試薬供給システム構築の具体的な試みと接触皮膚炎疫学調査
関東 裕美 (東邦大学医療センター大森病院)
- 薬疹データベース構築に関する進捗状況
橋爪 秀夫 (市立島田市民病院)
- 思春期アレルギーの実態調査
室田 浩之 (長崎大学)

15:20~16:20 特別講演

(皮膚科領域講習対象講演)

特別講演 1

座長：橋本 公二 (愛媛県立医療技術大学 学長)

SL1 Mechanisms of anti-PD1 induced skin toxicity

Lukas Flatz (SNSF Professor, Medical Faculty University of Zurich)

16:30~17:30 共催特別講演

共催特別講演

座長：片山 一郎 (大阪大学 名誉教授, 大阪市立大学 特任教授)

SSL 免疫研究と臨床応用～血管炎, 免疫代謝, がん免疫の話題も含めて～

熊ノ郷 淳 (大阪大学 呼吸器・免疫内科学)

共催：MSD 株式会社／大鵬薬品工業株式会社

11月16日(金) 第1日目 B会場

14:10~15:10 一般演題

蕁麻疹1

座長：山田 秀和（近畿大学医学部奈良病院）

大久保 ゆかり（東京医科大学）

- O-001 当院における慢性疹麻疹に対するオマリズマブ使用8例の検討
P-001 横見 明典（市立豊中病院）ほか
- O-002 オマリズマブが著効した重症の汗アレルギー型コリン性蕁麻疹
花井 志帆（浜松医科大学）ほか
- O-003 全身性寒冷蕁麻疹とコリン性蕁麻疹を合併した1例
P-002 田中 麻理（大阪大学）ほか
- O-004 汗アレルギー患者を対象とした精製汗抗原（QR）を用いたHRTとBAT
の比較
織田 好子（神戸大学）ほか
- O-005 体温上昇により誘発された血管浮腫の2例
箕輪 智幸（札幌医科大学）ほか
- O-006 てんかん発作を伴うHAE with normal C1-inhibitor（C1-INH）の2家系
の臨床的特徴
桑原 咲（神戸大学）ほか

11月16日(金) 第1日目 C会場

14:10~15:10 一般演題

膠原病1

座長：濱口 儒人 (金沢大学)

新井 達 (聖路加国際病院)

- O-007 皮膚ループスエリテマトーデスにおける重症度や予防に関する国際アンケート結果
古川 福実 (日本赤十字社高槻赤十字病院)
- O-008 愛知医科大学皮膚科エリテマトーデス12例におけるヒドロキシクロロキン
P-007 投与例のまとめ
古川 貴恵 (愛知医科大学) ほか
- O-009 全身性エリテマトーデスに合併したサイトメガロウイルス腸炎の1例
P-008 大久保 葵 (鹿児島大学) ほか
- O-010 SLE, SjS に合併した肺高血圧症の1例
菅田 実穂 (中京病院) ほか
- O-011 重度両側脈絡膜剥離と蛋白漏出性胃腸症で発症した全身性エリテマトーデスの一例
田中 義人 (中京病院) ほか
- O-012 家族性地中海熱を合併した全身性エリテマトーデスの1例
國府 拓 (滋賀医科大学) ほか

16:30~17:30 イブニングセミナー

イブニングセミナー1 ヘルペスウイルス感染症の基礎と臨床の話題

座長：岩月 啓氏 (岡山大学 名誉教授, 岡山大学 特命教授)

- ES1-1 ヒトヘルペスウイルス6B 宿主受容体発見までの軌跡と新たな展開
森 康子 (神戸大学大学院医学研究科・感染症センター・臨床ウイルス学分野)
- ES1-2 帯状疱疹の病態, 治療, 予防について
小菅 治彦 (日野市立病院)

共催：武田薬品工業株式会社

11月16日(金) 第1日目 D会場

14:10~15:10 一般演題

薬疹1

座長：寺木 祐一（埼玉医科大学総合医療センター）
新原 寛之（島根大学）

- O-013 サラゾスルファピリジンによる薬剤性過敏症症候群（DIHS）の3例
欠田 成人（三重大学）ほか
- O-014 10歳男児に生じた非典型 DIHS
中村 華子（昭和大学藤が丘病院）ほか
- O-015 再燃時にも TARC 著明高値を呈し、急性発症1型糖尿病を合併した薬剤性
P-021 過敏症症候群の1例
河合 良奈（獨協医科大学埼玉医療センター）ほか
- O-016 薬剤性過敏症症候群のオーバーラップが疑われた Stevens-Johnson 症候群
の1例
山本 祥子（奈良県立医科大学）ほか
- O-017 薬剤性過敏症症候群発症後にヒトヘルペスウイルス6の持続感染をきたし
P-022 た症例の検討
西村 友紀（奈良県立医科大学）ほか
- O-018 豊胸術施行部位から発症した多形滲出性紅斑の1例
加藤 峰幸（杏林大学）ほか

16:30~17:30 イブニングセミナー

イブニングセミナー2 作用機序から考えるオマリズマブ治療最前線

座長：佐藤 貴浩（防衛医科大学校）

- ES2-1 オマリズマブによって明らかとなった蕁麻疹の病態と IgE の役割
神戸 直智（関西医科大学）
- ES2-2 慢性特発性蕁麻疹における抗体療法の実際とその効果予測因子
葉山 惟大（日本大学）

共催：ノバルティス ファーマ株式会社